

生田流宮城会宮城宗家直門
大師範（箏奏者）

きみや みよこ
貴宮 巳代子 さん



市民音楽祭には、第1回からの出演。箏の魅力を多くの市民に伝えている

人を癒やし優しい気持ちにする
「箏」の音色がなによりも好き。
自分の全てを箏に注ぎ込んだ。
より多くの人に箏の魅力を伝え、
次の世代に繋げていきたい。

美しくどこか懐かしい音色を奏でる日本の伝統楽器「箏」。国の重要無形文化財保持者（人間国宝）の宮城喜代子さんから直接指導を受け、宮崎日日新聞社文化賞など数々の賞を受賞してきた箏奏者がいる。

貴宮巳代子さん、84歳。
貴宮さんは、母、祖母の

影響で物心ついたころから箏や三弦、謡曲など伝統音楽に触れてきた。

「人を癒し、優しい気持ちにする日本独特の箏の音色が何よりも好きで、夢中になりました」。

高校卒業後、社会人になるとその思いはさらに強くなり、時にはSLに揺られ東京に稽古や舞台に行くほどのめり込んだ。

メキメキと腕を上げ、人間国宝の宮城さんに「あなたはいいものを持つている。音色がとても美しい」と言われるほどに成長した。

「自分の全てを箏に注いで来たように思えます。一つ後悔があるとすれば、戦後間もない高校時代、卒業後、

芸大に進学し音楽を本格的に学ぶ道があることを知らなかったこと。その道に進んでいればと、ふと考えることがあります」。

30代で箏の教師免許を取得し、自らの演奏に加え、後進の指導にも当たっている。自身の経験から、生徒には音楽とその将来まで考え指導。教師としても、全国大会で優勝する生徒を複数人育てている。

「箏は日本が誇る伝統楽器です。だからこそ多くの人に魅力を伝え、次の世代へと繋げていきたいですね」。

貴宮さんは、今年も市民音楽祭に出演する。箏の美しい音色を未来へと響かせるために――。

林 小 人
こばやしびと
Vol.61